

和光会会報No. 45

—三菱電サービス（菱サ）～三菱電機ビルテクノサービス（MELTEC）本社OB会—

◆「第14回総会」開催のお知らせ

和光会総会を次の日程で開催することに致しましたので皆様のご出席をお待ちしております。

- ・ 日時：平成28年6月18日（土）15:00～17:30
- ・ 場所：東京都荒川区荒川7-19-1 システムプラザB館 8F 大会議室
- ・ 会費：5,000円

今回も前回同様イベントとして和光会会員の日頃の活動状況を紹介するため、趣味の作品の展示コーナーを設けることにいたしました。パッチワーク、版画、写真、絵画、書道、墨絵、彫刻、陶芸、著書、論文、雑誌への掲載記事などご紹介したいと思います。この機会に、是非仲間へ作品の披露をお願い致します。

展示される方は、作品を当日持参され、総会開始前の13:30～14:00に所定の場所に展示し、総会終了後お持ち帰り願います。

なお、展示スペース準備のため総会案内の「返信はがき」に下記の事項をご記入願います。

1. 作品のジャンル（例えば、書道、写真、油絵など）
2. サイズ [縦 × 横 × 高]（展示スペースは一人当たり180×60cm机1つ分以内）
3. 展示に関し事務局への要望

また、展示に関して不明な点は下記事務局にお問い合わせをお願いいたします。

MTB和光会事務局

TEL：03-3802-9530

メールアドレス：meltec-OB-wakokai@mtb.ssg.meltec.co.jp

今回更に支社OBとの交流を図るべく、支社OB会にも和光会総会・懇親会を紹介し、支社OBのメンバーも参加できるようにいたします。

前回同様、総会の詳細への参加につきましては総会案内の「往復はがき」にてMTBより別途ご案内申し上げますので、日程だけ抑えておいてください！

◆「あがりこ大王」に見参する

……（2016-03）—山本 拓弘（馬骨）さんから投稿頂きました—

「あがりこ大王」というのをご存知でしょうか。少し古い5年ほど前の話となりますが、東北の春の旅で「あがりこ大王」に見参したという話です。東北は秋田県南部、鳥海山の裾野が海に届く位置に象潟という町があります。（今はにかほ市となりました）その町の山側のそれほど遠くない森の中に、「あがりこ大王」は鎮座しています。

象潟といえば、「奥の細道」にも出てくる、松尾芭蕉がこの旅で訪ねた最北端の場所で、九十九島（今はその跡）や蛸満（かんまん）寺などが有名です。この時に詠んだ「象潟や雨に西施（せいし）がねぶの花」は、その後の象潟をかなり有名にしています。芭蕉が訪ねた頃は、この地は太平洋側の松島エリアと並ぶ海辺の景勝地だったのですが、その後の大地震（1804年、文化の大地震）で海が盛り上がって陸地となり、小島は消失してしまい、今は蛸満寺近郊にその名残が残っています。

さて、「あがりこ大王」に戻りますが、これは日本随一と言ってよいブナの奇形木の大樹の呼び名なのです。「あがりこ」というのは、一度切り倒された樹の根元から生え出した孫生え（ひこばえ）が、元の株と一緒にそのまま生長して大樹となったもので、根元の株が上がっていますので、地元の人たちはこれを「あ

がりこ」と呼んだのでした。象潟のこの辺り一帯は、往時の江戸時代では炭焼が盛んだったようで、一時はブナの木も炭の材料となっていたため、冬の間に切り倒されたのかもしれませんが。たくさんの「あがりこ」があるのですが、その中にとりわけ巨大で異彩を放っているのが、「大王」と呼ばれる幹回り7.62m、樹高25m、推定樹齢300年ともいわれるブナの大樹です。

私は巨樹に大きな魅力と畏敬を感じています。十数年前にくるま旅を始めるに当たって考えたのは、現在の日本国地上で最長寿の生き物に挨拶に行こうということでした。それは屋久島の縄文杉であり、縄文杉は、樹齢三千年を超える、この世でお目にかかることが可能な、唯一の生き物なのです。それで、屋久島を訪ねました。一日がかりで逢えたその縄文杉は、とても杉の木などとは思えぬ、巨大な力瘤が幾つも幹に張り付いた神秘的な姿をしていました。写真には収まらない、籠められたエネルギーの凄まじいパワーを感じたのです。そのパワーは今でも自分を守り続けて下さっていると信じています。樹木といえども何千、何百年を生き抜いているものは、どれを見ても軽薄な人間どもを圧倒する力を持っています。人間とは住む世界が違っていても、共通の時間を生きており、人間の何十倍も生きて来た、その生き方から学ぶ必要があるように思うのです。「あがりこ大王」もその一本であることは間違いありません。

さて、その「あがりこ大王」ですが、象潟の町から5kmほど離れた山側の坂道を登ってゆくと、中島台レクリエーションの森というのがあります。その駐車場に車を置いて、傍を流れる谷川を遡りながら30分ほど歩きました。6月半ばのその時の東北の山々は、遅れて始まった春を謳歌する植物たちに溢れており、溪流の脇にはタニウツギのピンク

や鮮やかな紫のフジの花が随所にそれぞれの生命（いのち）を輝かせていました。身体の中までが緑に染められてしまうほどのブナの淡い緑の葉が森全体を包んでいて、途中何度も立ち止まって嬉しい深呼吸をしました。歩くにつれ次第にブナの木が多くなり出し、その中に株の上がった先から枝とか、幹とか、不思議な形をしたブナの木が散見されるようになりました。

中には「燭台」と名付けられた奇妙な、しかし、確かにそれに似ている大木もありました。そこを通り抜けて少し行った先に大王は鎮座していました。



あがりこ大王の姿。どこからどこまでを幹と呼ぶのか判らないけど、枝分かれしている箇所周囲は優に10mは超えている

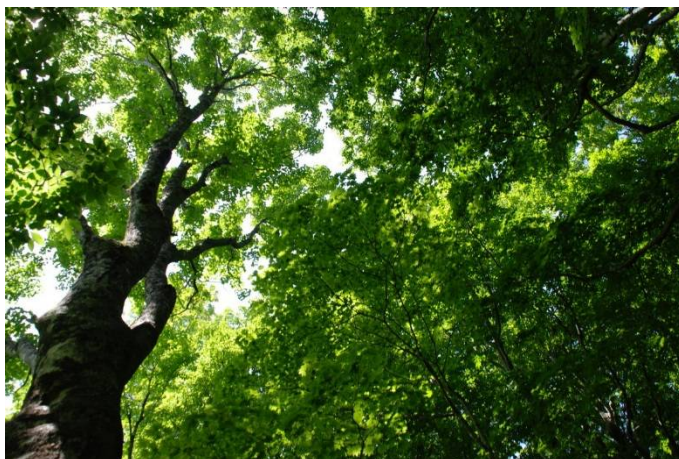
木の根を踏まぬようにと作られた小さな周回路の板に囲まれて、大王は他のブナたちと一緒に、天空に向かって淡い緑の葉を広げ、今年迎えた春を精いっぱい謳歌しているようでした。空に向かって広げられた枝葉の緑は平和そのものでしたが、しかし、その幹には遠い昔から耐えて来た人間どもの蛮行に対する怒りや悲しみの塊のようなものが籠っているようで、何とも言えない雰囲気でした。単純に奇形木などと呼んでいいのか、人間は己が生み出したこの奇妙な形の大木を、単に珍しがらただけでいいのか、そのような気持ちにさせられました。縄文杉とは違った雰囲気なのです。大王が人間に見せているのは、人間の罪深さの証だったのかもしれませんが。生きるためには様々な罪を作らなければならない、生き物の宿命と

いうのを改めて思い知らされた感じがしました。

大王を囲む周回路を二回りほどして、その奇異なる姿をカメラに収めたり、鮮緑の空を仰いで大王の放つマイナスイオンの降り注ぐ空気を胸に吸い込みました。人間の暴挙などは遠に忘れた、今を目一杯に生きている大王の姿をそこに感じました。こんな時には、空を仰ぐことがとても大切なのを改めて気づいた次第です。

大王に見参した後は、付近の「あがりこ」たちの何本かを訪ね見ながら、元来た道を辿り、

駐車場に戻りました。行く前の心弾む期待は反省に変わり、その後はブナの優しき緑への感謝に変わった、とても印象的な時間でした。これからも機会をつくって、何度でも再会を果たしたいと思いました。



あがりこ大王が高く掲げた枝の上には、鮮緑に輝く、マイナスイオンの溢れた空があった。

◆ 会員の趣味のコーナー

会報No.43より第13回和光会総会の展示作品をご紹介しますが、今回も引き続き3名の方の作品をご紹介します。

今回もこれらを始めた時期(年数)・動機、作品を制作しての喜び(感動)、苦勞したこと、「他に取り組んでいる趣味」などを含めて紹介いたします。

なお、出展出来なかった方の作品・趣味についても出来るだけ順次ご紹介をしていく予定です。

◆ 水彩画・日光彫

…… (2015-06) —沼部 光雄さんから投稿頂きました—

水彩画

「永野川の桜」(F6号)



栃木市を流れる永野川の堤に桜を描きました。

地元では桜の名所になっており、多くの絵画仲間が写生に来られています。

桜を描く時、桃の花にならないようピンクを抑えるのに苦勞しました。

日光彫



趣味で 1 番力を入れているのがバラの栽培です。200 株ほど面倒を見ています。

自分のバラの水彩画を描くのが目標でしたが、昨年のバラの鏡に続いてバラの壁掛けを作製しました。日光彫をはじめて 10 年目ですがまだまだ未完成の多い作品です。

◆水彩画 4 点

…… (2015-06) —東山 孝幸さんから投稿頂きました—

①「小樽運河」 (30号)



昨年初夏、北海道のスケッチの折、後輩（小樽在住の画家）の案内で感動的なポイントに出会った。小樽運河は何度かスケッチしたが、このポイントは運河の向こうに小樽の街並みがすばらしい。10号でスケッチの後、30号で仕上げた。

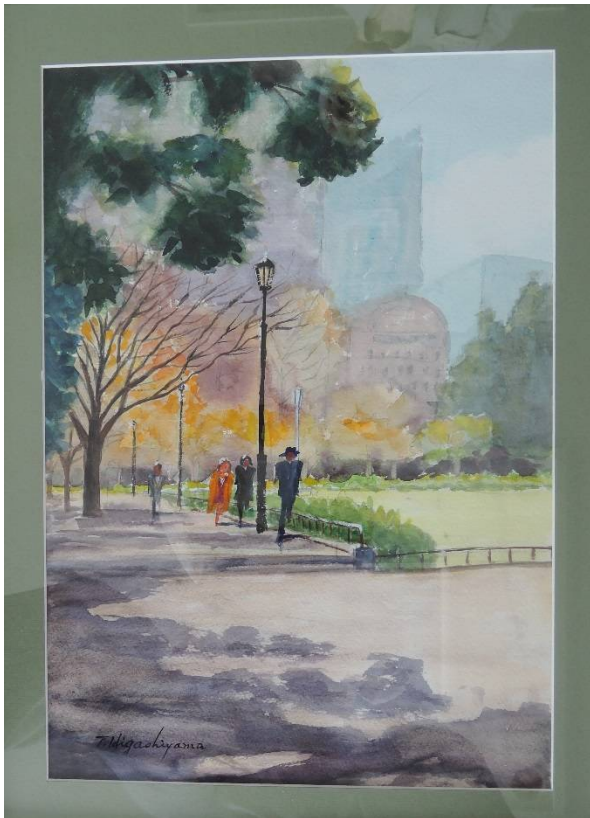
北の小樽はすばらしい。



②「真鶴港ヨットの夏」(10号)

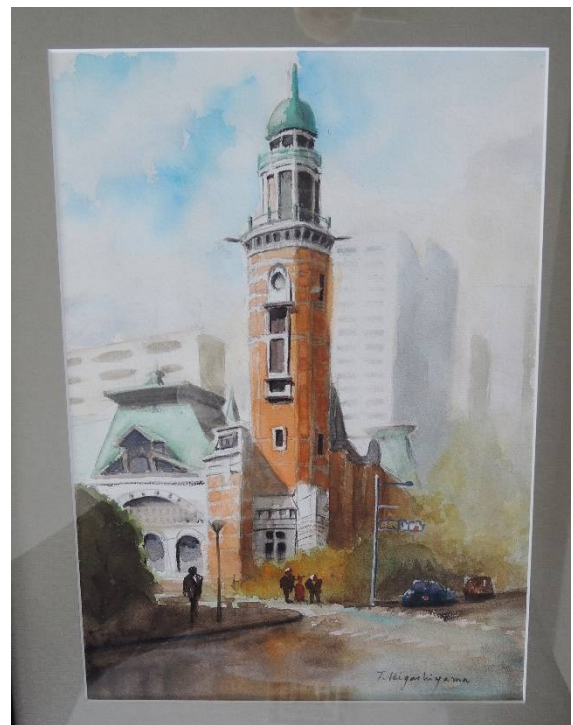
真鶴半島が大好きで、1年に何度かは立ち寄るが、真鶴漁港の出入口に色とりどりのヨットが係留されている。このヨットに乗って世界中に出かけたような夢を空想しながらスケッチした。私に夢をくれる作品。

③「日比谷公園」(10号)



東京は最大のスケッチポイント域ですが、日比谷公園には毎年2回は訪れます。昨年の秋公園の中央から日比谷公会堂方面を描いたものですが、ちょうどサラリーマンの昼食時で日比谷の賑わいの時間でしたが、秋の風景の視点で描きました。

④「開港記念館」(6号)



横浜はスケッチポイントが集中している大好きな街。
洋風の建物も多く、この開港記念館は人気のスポットです。
淡彩風に描くと楽しい絵となります。

◆DIY ロフト付き工房ハウス

…… (2015-06) —金井 敏幸さんから投稿頂きました—

爺遊楽庵 ～ 孫と私のあそび場 ～ (念願の薪ストーブを完備したロフト付き工房ハウス)

雑誌「ドゥーバ」のDIY大賞に応募し第16回ドゥーバDIY大賞セルフビルド部門賞を受賞しました。

中学生のころからモノ作りを始めDIY歴は50年くらいになり、工房を自分の手で作るが夢でした。その夢がやっと叶いました。木工を楽しみながら、孫たちと遊ぶ空間なので「爺遊楽庵」と名付けました。

着工 2009年9月 完成 2014年春

菱サビルウェアに勤めながら休日のみの作業で、材料費は概ね150万円、工具に30万円くらいかかりました。工法は2×4、材料の調達は、ホームセンター（カインズホームとジョイフル本田新田店）。一番大変だったのは屋根張り。命綱と安全ロープで完全装備。毎回何らかの形ができていき、そのことが楽しみでした。。

① 基礎～床 凍結深度（70cm）と床下の湿度防止を考慮し、ポイド管を使用した高床式の基礎



2009年9月 基礎作り



2009年11月

断熱材を床下にも敷いて土台の工事完了

② 壁 2×4工法では壁が構造を支えます。



2010年6月 壁が立ち上がりました

2010年5月連休 壁づくり

前2枚、後・左・右各1枚、計5枚の壁を作成
それぞれの壁を立ち上げ、頭を2×4材でつなぎ
壁の建て越しが完了

- ③ ロフト 是非作りたかったロフトを設けました。50cm立ち上がりがあるので中央部ではかがまずに歩けます。



2010年6月 妻壁、屋根の下地ができて家らしくなりました

2010年8月 ロフトの梁を支える中柱を設置

2010年9月 ロフトへの階段取付け ロフトの下地貼り、仕上げはフローリング

- ④ 屋根 ロフトを設けたため勾配がかなりきつくなり、安全ベルトと命綱で何十年ぶりの高所作業



2011年1月 屋根張りは勾配がきついので大変

作業中断 2011年3月に起きた東日本大震災も影響でホームセンターから壁に張る構造材も姿を消しました

- ⑤ 外壁 連休近くになると、構造材もわずかですが出回ってきたので作業再開

2011年5月 構造材貼り付け
防湿紙貼り付け



2010年6月 ロフトがあるので高所の作業が楽でした

2010年10月

妻壁もでき垂木も取り付け完了

単管パイプで足場を組んで下地の貼り付け作業

2010年11月

下地もできて屋根材の貼り付け





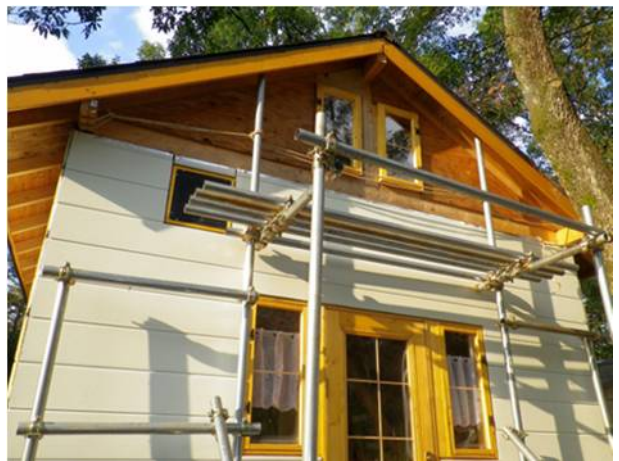
2011 年 6 月
ドアも 2*4 材とアクリルで作成し取付窓も作成。



2011 年 7 月
アクリルは 2 枚合わせになっていますが効果は？



2011 年 9 月外壁貼りの準備

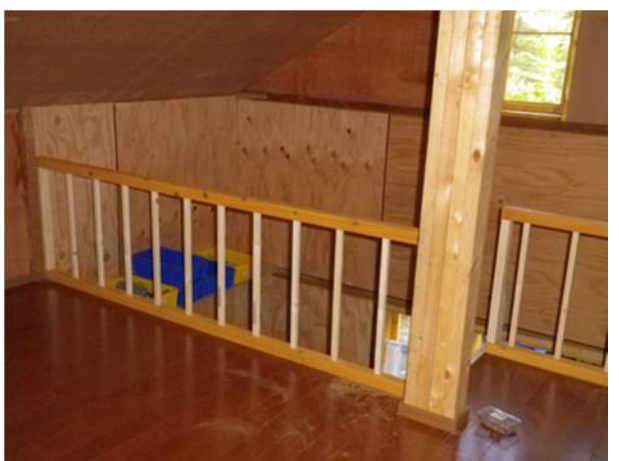


2011 年 9 月末 外壁ほぼ終了

⑥内装・その他



2012 年 7 月 床貼り完成



2012 年 8 月 ロフトの床も完成。ラティスの
枠材を利用し手すりを設置
ベッドも 2 台置けるスペースを
確保



2012 年 10 月 ほぼ完成。妻壁の壁材は杉板を使用



内部はこんなに、建具造作用工作台設置



2014 年 4 月 薪ストーブ設置完了。
試運転はこの秋に



2014 年 5 月 工具棚を移動



ロフト内部



材料はすべてホームセンターで購入し、相棒の
マイトラックで建築現場へ搬入

○ カレンダーの追加・手帳の頒布について

カレンダーは毎年年末に会員宛1部送付しておりますが、カレンダーの追加・手帳の頒布をして欲しいとのご要望がありましたので、2016年分から有償申し込みを受け付けることに致しました。

2017年分をご希望される方には下記方法にて頒布いたしますので郵便局払込取扱票（振込用紙）にて必要部数をご記入の上来る平成28年6月30日（木）期限厳守にて下記口座にお振込願います。期限に遅れるとMELTEC宛追加発注できませんので期限厳守をお願いいたします。年末にご送付いたします。

なお、カレンダー送付時同封いたしますので送料がほとんど増加いたしませんのでカレンダーの単価を変更いたしました。

1. カレンダー 1部 ￥500

2. 手帳 1部 ￥250

郵便局払込取扱票（振込用紙）の書き方

① 口座番号：00100-7

② 口座記号：650896

③ 加入者名：和光会

④ 金額

⑤ 通信欄・ご依頼人

カレンダー、手帳をお申し込みの方はそれぞれの＜商品冊数＞＜合計金額＞をご記入ください。

おところ・おなまえ・ご連絡先電話番号をそれぞれご記入ください。

◆ MELTEC 情報

○ MELTEC役員人事—2016年4月1日付で次のとおり役員人事が行われました—

	新	旧	氏 名
就任	取締役社長	専務取締役 本社 経営企画室長	吉川 正巳
就任	常務取締役 本社 人事部長	取締役 本社 人事部長	佐々木 雅隆
就任	常務取締役 本社 品質保証本部長	取締役 本社 安全衛生本部長	村上 忠司
新任	取締役 首都圏第一支社長	役員理事 東京支社 副支社長 (兼) 業務統括部長	高倉 義行
新任	取締役 本社 昇降機新設事業本部長	役員理事 本社 昇降機新設事業本部長	宮原 次郎
新任	取締役 東北支社長	役員理事 東北支社長	北原 博史
就任	常任監査役	取締役 本社 品質保証本部長	久住 重治
就任	常任相談役	取締役社長	瀬尾 孝夫
退任	顧問	取締役顧問（経營業務管理責任者）	河村 賢造
退任	顧問	取締役 本社 エンジニアリング本部長	佐藤 敏夫
退任		常任監査役	白樫 誠

◆ 事務局より

- ・ 和光会会報№.3 4より「くるま旅くらし心得帖」の山本拓弘氏よりくるま旅についてご投稿いただいておりますが、今回11回目のご投稿をいただきました。

なお、山本拓弘氏の「くるま旅くらし」の最近の様子は下記ブログに載っておりますので是非ご覧ください。

<http://blog.goo.ne.jp/vacotsu8855>

「山本馬骨」で検索しても可能です。

- ・ 「会員趣味のコーナー」では第13回和光会総会の展示作品の中から、常連となりました沼部光雄さんの水彩画・日光彫、東山孝幸さんの水彩画、それに金井敏幸さんの5年間の休日を利用しての手作りの工房（お孫さんと遊ぶ空間）と3名の方の作品をご紹介します。
- ・ **2016年度会費納入対象の方宛に「1194」「和光会会報」送付時振込用紙を同封いたしますので、会費「4,000円（2年分）」を次の口座宛に振り込み賜りたくよろしくお願い申し上げます。**

振込先：郵便局

口座番号：00100-7

口座記号：650896

加入者名：和光会

- ・ E-MAIL 会員各位へは INFORMATION をお送りしておりますが、未だ不達がありますので、**メールアドレスの変更時は速やかにご連絡**をお願いいたします。
また、添付資料がないとの連絡を頂くこともありますので、そのような場合は事務局あてご連絡ください。
携帯電話のメールでは添付資料送付は無理ですのでその旨ご連絡ください。今後は印刷物をご送付致します。
- ・ 「和光会会報」・「1194」・カレンダーなどを会員宛送付しておりますが、宛所不在で戻ってくる場合がありますので、**転居・住所表示変更等の場合は速やかにご連絡**をお願いいたします。
- ・ パソコンのある方は、会報や総会写真を下記和光会ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

<http://www.geocities.co.jp/Milkyway-Kaigan/5992/>

皆様の日頃の活動やグループ活動などのお便り・投稿をよろしくお願いいたします。

2016-4-9 和光会事務局 寺門 三男

029-872-4122 mitsuotera@icom.home.ne.jp